



NPO法人
21世紀出雲産業支援センター
センター通信 vol.32
(2022年3月号)

ジョイナス -Join us!-

つなぐ。つながる。～産業の縁結び～「企業のためにできること」私たちは考えます。

【発行者】

特定非営利活動法人
21世紀出雲産業支援センター
〒693-0002 出雲市今市町北本町三丁目2-1
電話：0853-25-2488
FAX：0853-24-0086
メール：info@npo-i-i-support.org
URL：https://npo-i-i-support.org



会員企業紹介

『公立大学法人 島根県立大学 出雲キャンパス』さま(H19.6.26入会)



所在地 出雲市西林木町151
代表者 学長 清原 正義
電話 0853-20-0200
FAX 0853-20-0201
ホームページ <https://izumo.u-shimane.ac.jp/>
事業内容 教育機関



公立大学法人島根県立大学
マスコットキャラクター
オロリン



キャンパス紹介

「地域に信頼される大学でありたい」と願い、常に進化を目指しています。島根県立大学出雲キャンパスは1995年島根県立看護短期大学として創立され、2012年に3大学統合・法人化を経て島根県立大学看護学部となりました。2016年には看護学研究科を設置、2018年に健康栄養学科が加わり現在の看護栄養学部となりました。「自ら考え行動できる専門職業人」をめざす人材像として掲げ、現在、看護師、保健師、管理栄養士、助産師の養成を行っています。キャンパスでは、おおよそ600名の学生と教職員が一体となり、「地域」「人間大好きな精神」を大切に、キャンパスライフを楽しんでいます。

取り組み

地域に密着した大学ならではの学び、地域活動を展開しています。授業では、健康と生活との関連性を理解することを目的に、地域の方々のご自宅を訪問させていただく「基礎看護学習Ⅰ(家庭)」や、地域医療への理解と関心を深めることを目的とした島嶼地域・中山間地域での滞在型フィールド学習「島根の地域医療」等、本学ならではのカリキュラムを展開しています。地域・産学官連携では、学生が島根創生・地方創生に向けて取り組む機会として、美郷町のおおち山くじらを活用した新商品開発やしまね健康寿命延伸プロジェクトにおける健康に配慮したお弁当・お惣菜等の開発等に取り組んでいます。また、健康と看護をめぐる地域社会のニーズや課題に応え、地域と協働し、地域に開かれた大学を実現するため、地域の皆様、看護職や管理栄養士・栄養士等の専門職を対象とした、公開講座や出前講座、研修会等の開催、キャンパスツアー等を行っています。連携・協力のご要望等がございましたらお気軽にお声かけください。コロナ禍では、予定していた授業の変更やイベントの中止等、様々な困難もありましたが、



美郷町との共同開発商品
「山くじらカレー 春・秋」
「カレーパン」



グループワークで地域の課題を
検討しています。



地域に出向き、
出前講座を実施しています。

地域の皆様や企業様から
たくさんの暖かい励まし・
ご支援を頂き、何とか乗り
越えることができました。
有難うございました。

『メディソル株式会社』さま(H29.4.1入会)



所在地 出雲市奥宇賀町1058-1
代表者 代表取締役 窪田 寛
電話 0853-66-1137
FAX 0853-66-1138
ホームページ <https://www.medisol-online.jp/>
事業内容 清涼飲料水の製造販売



ここが すごい!

メディソルの高濃度水素水は、出雲北山の地下305mから半世紀にもわたり自噴し続けている天然湧水を100%使用しています。健康な人の体内の水分、赤ちゃんを守る母体の羊水の成分は弱アルカリ性だそうですが、メディソルの高濃度水素水の原水も弱アルカリ性で、体に優しい超軟水です。305mという非常に深い地層から自噴している為、自然ろ過力が高く清らかですので、赤ちゃんやお年寄りにも安心してお飲みいただけます。



その天然湧水に最新鋭の技術によって、超高純度水素(純度99.99999%)を極限まで安定して溶かしてこませ、特殊なアルミパウチにより、水素を高濃度で維持しています。清らかで柔らかな原水の特性をそのまま味わっていただける高濃度水素水です。

会社の思い

「一人でも多くの方に本物の高濃度水素水を届けたい」それがメディソルをこの出雲の地において創業した理由です。本物の高濃度水素水にふさわしい水とのご縁を求めて、多くの水源を調べ、たどり着いたのは出雲北山の自然豊かな里に湧く、地元の方から半世紀にわたり愛され続けてきた極めてやわらかく良質な水でした。本物の高濃度水素水を世に広めるためにいただいた縁を大切にし、水素水を必要とされる皆さまと結ばれることを願っています。



